

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ－A		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ－A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリップ(下着)・スリップ(2本セット)足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・基礎技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験40% テスト30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大塚 桂子 他3名			実務経験	○
実務内容	着付け教授、花嫁着付け1級取得。有限会社ビバーチェ取締役員。30年間着付け教室を運営し、企業内研修も行う。婚礼事業で花嫁着付けに長年携わる。美容部員としてコーセー化粧品株式会社給17年勤務。チーフとして店舗管理の実務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、 教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)

7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	実技の仕上げと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリッ(下着)・スリッ(2本セット)足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制)を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験40% テスト30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大塚 桂子 他3名			実務経験	○
実務内容	着付け教授、花嫁着付け1級取得。有限会社ビバーチェ取締役役員。30年間着付け教室を運営し、企業内研修も行う。婚礼事業で花嫁着付けに長年携わる。美容部員としてコーセー化粧品株式会社絵17年勤務。チーフとして店舗管理の実務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、 教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)

7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び20分）を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリップ(下着)・スリップ(2本セット)足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意)を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験40% テスト30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大塚 桂子 他3名			実務経験	○
実務内容	着付け教授、花嫁着付け1級取得。有限会社ビバーチェ取締役役員。30年間着付け教室を運営し、企業内研修も行う。婚礼事業で花嫁着付けに長年携わる。美容部員としてコーセー化粧品株式会社給17年勤務。チーフとして店舗管理の実務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
5	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)

7	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付け 2 級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する
10	座学 2	着物のTPO（プリント③④）について
11	小紋の着方 1	小紋の着方（自装）を学び実践する
12	小紋の着方 2	名古屋帯のお太鼓結び（自装の仕上げ）、着物の立居振舞を学び実践する
13	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅡ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①実技試験60% 授業態度・提出物など20% ②レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松岡 紗登子			実務経験	○
実務内容	エステ実務経験20年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション サロンワーク導入	オリエンテーション スチューデントサロン開業に向けて導入・症例研究について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	(例) サロン立ち上げ企画	接客マナーについて・広報ツール作成 サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等)
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	(例) サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備・衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習

4	技術練習	症例研究レポートの為のケースワーク
	美容総合授業	B G M ・ 映像 ・ ヘアメイク練習
5	技術練習	症例研究レポートの為のケースワーク
	美容総合授業	B G M ・ 映像 ・ ヘアメイク練習
6	技術練習	症例研究レポートの為のケースワーク
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	症例研究レポートの為のケースワーク
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
14	振り返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅡ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①実技試験60% 授業態度・提出物など20% ②レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大山 明美 他3名			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務15年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等) 広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習

4	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
	美容総合授業	B G M・映像・ヘアメイク練習
5	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
	美容総合授業	B G M・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	リハーサル	ボディ・フェイシャル
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
10	技術練習	プレオープン振り返り
11	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
12	振り返り	フィードバックからの学び
13	サロンワーク	サロン実習(オープン)
14	サロンワーク	サロン実習(オープン)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅡ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。		
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。		
評価基準	①実技試験60% 授業態度・提出物など20% ②レポート20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	大山 明美	実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務15年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等) 広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習

4	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
	美容総合授業	B G M・映像・ヘアメイク練習
5	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
	美容総合授業	B G M・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	リハーサル	ボディ・フェイシャル
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
10	技術練習	プレオープン振り返り
11	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
12	振り返り	フィードバックからの学び
13	サロンワーク	サロン実習(オープン)
14	サロンワーク	サロン実習(オープン)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅢ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。		
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松岡　紗登子	実務経験	○
実務内容	エステ実務経験20年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備
2	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅢ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト（サロンマネジメント）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大山 明美 他3名			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務15年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備
2	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅢ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大山 明美			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務15年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備
2	(例) サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネス英会話Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネス英会話Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	外国語テキスト			出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスシーンで使える英会話の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な英会話ができるようになる。		
到達目標	自己紹介から、接客に必要な英会話を話すことができ、受け答えができるようになる。		
評価基準	テスト50％ 授業意欲30％ 提出物20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	金城唯	実務経験	○
実務内容	塾講師（英語・数学・理科）教員として、7年間勤務経験あり		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・授業ルール、自分について
2	自分について話そう	自分の好きなことや好きなものについて
3	あいさつ①	あいさつの仕方について
4	あいさつ②	あいさつの仕方について
5	お客様を迎える①	お客様の情報の確認の仕方
6	お客様を迎える②	お客様に対応してのご案内
7	電話での接客①	予約日程の調整

8	電話での接客②	名前の綴り・道案内
9	コンサルテーション①	お客様の状態を知る
10	コンサルテーション②	お客様の状態を知る
11	復習	挨拶～コンサルテーションまで
12	施術中のコミュニケーション①	英会話でのコミュニケーション
13	施術中のコミュニケーション②	英会話でのコミュニケーション
14	テスト	復習～テスト
15	総合学習	前期のまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネス英会話Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネス英会話Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	外国語テキスト			出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスシーンで使える英会話の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な英会話ができるようになる。		
到達目標	自己紹介から、接客に必要な英会話を話すことができ、受け答えができるようになる。		
評価基準	テスト50％ 授業意欲30％ 提出物20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	金城唯	実務経験	○
実務内容	塾講師（英語・数学・理科）教員として、7年間勤務経験あり		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期の振り返り
2	受付での接客①	予約なしのお客様への対応
3	受付での接客②	待合室での寛ぎの提供
4	復習	予約なしで来店の対応ロールプレイング
5	場所の説明①	指標となる単語について知る
6	場所の説明②	電話での場所の説明
7	復習	電話での場所の説明

8	成績評価	電話での予約対応と道案内
9	お会計①	支払い価格と価格の説明
10	お会計②	支払い価格と価格の説明
11	復習	お会計
12	使用用語	トリートメント中
13	前日確認	メール・電話
14	成績評価	復習～テスト
15	総合学習	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ／AEAテキスト（各項目） シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。		
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準		
評価基準	筆記試験40％　コンサルテーション40％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	AEA上級認定エステティシャン　CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン		
関連科目	フェイシャルマニピュレーション、フェイシャルスキンケア、ボディベーシック、ボディテクニカル サロントリートメント、サロンワーク、エステティック総論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	味岡　智子	実務経験	○
実務内容	フェイシャル(含骨格矯正)、美容電気脱毛、Wax脱毛（ブラジリアン）ボディ(含リンパセラピー、バリニーズ)、 リフレクソロジー(若石)、アロマセラピー等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年生振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(ボディ)	コンサルテーションシートの記入方法について（ボディ）
3	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル)	コンサルテーションシートの記入方法について（フェイシャル）
4	姿勢の判定や肺葉型 りんご型・洋なし型	姿勢の判断や肺葉型とその特徴 内臓脂肪型と皮下脂肪型
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	前弯・後弯・O脚・X脚、3つの胚葉型とその特徴 内臓脂肪型・皮下脂肪型
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導

8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。		
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準		
評価基準	筆記試験40％　コンサルテーション40％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン		
関連科目	プロフェイシャルⅡ、プロボディⅡ、サロントリートメント、サロンワーク、エステティック総論Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	伊藤由貴子	実務経験	○
実務内容	サロン業務、エリア管理15年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年生振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(ボディ)	コンサルテーションシートの記入方法について（ボディ）
3	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル)	コンサルテーションシートの記入方法について（フェイシャル）
4	体のバランスと肥満	姿勢の判断・内臓脂肪型と皮下脂肪型
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	内分泌系の関わりとストレスと睡眠 セルライトの段階 水分滞留の判定 成績評価①
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導

8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 技術力確認試験 合格基準				
評価基準	筆記試験40％ コンサルテーション40％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	プロフェイシャル(ヒーリング)、プロボディⅡ、サロントリートメント、サロンワーク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 由貴子			実務経験	○
実務内容	サロン勤務・エリア管理15年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年生振り返り	1年生の振り返り
2	コンサルテーションシートの 記入について	AEAコンサルテーションシート 記入方法
3		
4	体のバランスと肥満	姿勢の判断・内臓脂肪型と皮下脂肪型
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	内分泌系の関わりとストレスと睡眠 セルライトの段階 水分滞留の判定
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導

8	筆記試験	成績評価① 範囲4～7回まで
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入 (ボディ・フェイシャル) 口頭試問 成績評価②
10		
11		
12	コンサルテーションシートの記入について	肌トラブル別の理論（原因・症状・改善策など） 運動生理について
13	コンサルテーションシートの記入について	肌トラブル別の理論（原因・症状・改善策など） 運動生理について
14	口頭試問対策	肌トラブル別の理論・運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ AEAテキスト（各項目） シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門に行える知識を身につける。				
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験40％ コンサルテーション40％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション、フェイシャルスキンケア、ボディベーシック、ボディテクニカル サロントリートメント、サロンワーク、エステティック総論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	味岡 智子			実務経験	○
実務内容	フェイシャル(含骨格矯正)、美容電気脱毛、Wax脱毛（ブラジリアン）ボディ(含リンパセラピー、バリニーズー)、 リフレクソロジー(若石)、アロマセラピー等				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
2	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
3	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
4	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
5	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
6	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	

7	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
8	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
9	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
10	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
11	筆記試験	成績評価⑤ 筆記試験模試
12	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 筆記試験範囲補填
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。		
到達目標	AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	筆記試験40％　コンサルテーション40％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン		
関連科目	プロフェイシャルⅡ、プロボディⅡ、サロントリートメント、サロンワーク、エステティック総論Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	伊藤　由貴子	実務経験	○
実務内容	サロン勤務・エリア管理15年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	AJESTHE上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
2	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
3	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
4	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
5	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
6	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	

7	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	AJESTHE上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
8	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
9	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
10	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
11	筆記試験	成績評価⑤ 筆記試験模試
12	AJESTHE上級実技口頭試問対策 実技試験範囲	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験範囲 補填
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 技術力確認試験 合格基準				
評価基準	筆記試験40％ コンサルテーション40％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	プロフェイシャル(ヒーリング)、ロボディⅡ、サロントリートメント、サロンワーク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三和 真由子			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	技術力確認試験 筆記試験対策	技術力確認試験範囲 コンサルテーション
4		
5		
6		
7		

8	筆記試験	成績評価③ 技術力確認試験 模試
9	卒業判定試験 対策	成績評価④ 総合テスト(筆記かロールプレイング)
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅡ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅡ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三和 真由子 他4名			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の説明 （目的、効果、成分、使用法等）
3	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
4		
5		
6	AEA模擬試験	成績評価①

7	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォレーゼ・デイスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→電気学 ボディ→ガルバニック)
8		
9	フェイシャル電気機器 サクション	バター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→解剖生理学 ボディ→サクション)
10		
11	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
12		
13	フェイシャル総合授業	成績評価②
14	オリジナルマッサージ スウェデッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー		
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	三和　真由子　他4名	実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務8年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	【3コマ】カウンセリングシート作成選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2	皮膚生理学・香粧品学・機器	【3コマ】口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト
4	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
5	スウェディッシュマッサージ練習	デモンストレーション・実践
6	AJESTHE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
7		
8		

9	模擬試験	成績評価①
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11		ディープクレンジング・電気トリートメント
12		マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル
13		アフターカウンセリング
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅡ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅡ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・ コンサルテーション・エステティック機器		
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田　磨佑　他1名	実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務6年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅡ オリエンテーション	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ デモンストレーション
4	スウェデッシュマッサージ導入	
5	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォレーゼ・ディスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む

6	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む
7		
8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
9		
10	フェイシャル電気機器 サクション	バター 実技理論・デモンストレーション含む ※運動教科 総論→解剖生理学 ボディ→サクション
11		
12	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
13		
14	フェイシャル機器総合	成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・ コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山田 磨佑 他1名			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務6年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・香粧品学・機器・ディープ クレンジング	カウンセリングシート作成（選択理由・目的・効果） 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法
4		ディープクレンジングの肌別選択・目的
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

6	技術力確認試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習　成績評価①　模擬試験
7		
8		
9		
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11		ディープクレンジング・電気トリートメント
12		マッサージ・マスク・仕上げ
13		アフターカウンセリング
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習　成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 由貴子 他3名			実務経験	○
実務内容	サロン業務・エリア管理 15年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の説明（目的、効果、成分、使用法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について
3	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
4		
5		
6	ボディ電気機器 サクション	サクション 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7		

8		
9	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 成績評価①模擬試験
10		
11	ボディ電気機器	
12	G5	G 5 □答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
13		ボディ機器 総合復習
14	ボディ機器総合	ボディ機器総合復習 成績評価②機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 由貴子 他3名			実務経験	○
実務内容	サロン勤務・エリア管理 15年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の説明（目的、効果、成分、使用法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング
3	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
4		
5		
6	ボディ電気機器 サクション	サクション 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7		

8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習 成績評価①　模擬試験
9		
10		
11	ボディ電気機器	G 5 □ 答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
12	G5	
13	ボディ機器総合	ボディ機器　総合復習
14		ボディ機器　総合復習 成績評価②　機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・ コンサルテーション・エステティック機器 ・ ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 由貴子 他3名			実務経験	○
実務内容	サロン業務・エリア管理 15年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2	脱毛 Wax (Warm)	ワックス実技演習（腕・足） 成績評価① 脱毛試験
3		
4		
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

6		
7	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択　ボディマッサージ アフターカウンセリング　…　一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
8		
9		
10		
11	AJESTE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価②模擬試験
12		
13		
14		
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合　復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三和 真由子 他1名			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	脱毛 Wax (Warm)	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果 脱毛理論/成分/注意事項・禁忌事項 成績評価①
4		
5		
6		

7		
8	技術力確認試験対策	試験対策 成績評価②模擬試験
9		
10	ボディテクニック総合 クライアント実習	クライアント実習
11		
12		
13		
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-A		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	エステティック科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ AEAテキスト（各項目） シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学・運動学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCOインターナショナル合格基準 (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピレーション、フェイシャルスキンケア、ボディベーシック、ボディテクニカル、サロントリートメント、サロンワーク、エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	味岡 智子		実務経験		○
実務内容	フェイシャル(含骨格矯正)、美容電気脱毛、Wax脱毛（ブラジリアン）ボディ(含リンパセラピー、バリニーズー)、リフレクソロジー(若石)、アロマセラピー等				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	総論オリエンテーション 皮膚の構造・生理機能	シデスコ本試験(筆記) 及びAEA筆記試験(任意)の概要説明 総論授業の年間スケジュール等確認 ※皮膚学・1年次復習(皮膚構造/皮膚の働き)
2	肌質・皮膚トラブル	肌別トラブル(脂性、乾性、敏感など) 皮膚トラブル（ニキビ、シミ、しわ、たるみなど） ※肌のPH値、水分量、皮脂量の見極め方 ※皮膚トラブルの特徴と原因
3	アレルギー理論・その他の皮膚疾患	皮膚トラブル（アレルギー性皮膚疾患、アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎など） ※アレルギーの型及び理論的解釈 ※アレルギー疾患以外の皮膚疾患(原因、症状)の理解
4	救急法	・サロンでの救急法 ・心肺蘇生法と止血法 ・主な症状の怪我と病気 ・主な事故・怪我の手当て
5	電気理論・人体と電気 エステティック機器の種類と原理	電気の基礎知識 原子とは/イオン結合/電流と電子/動電気と静電気/電流の3大作用/直流と交流 電気信号伝達メカニズム・エステティック機器の種類・原理
6	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	化粧品と薬機法 成績評価① ※皮膚学、救急法、電気学、化粧品学の確認試験（AEA問題集より抜粋）
7	栄養学復習	栄養学の基礎知識/肌トラブル・身体トラブルと栄養の関係/フィトケミカル

8	運動生理学復習	運動の必要性/代謝と運動/運動処方/運動の実際(実演)
9	人体のあらまし細胞・組織・器官	人体の成り立ち・名称、主な器官の位置・大きさ 細胞の構造と働き、細胞の分裂、組織の分類・器官・器官系
10	循環器系	循環器系(心臓血管系・リンパ系)、血液成分
11	内分泌系	内分泌器官それぞれのホルモンの種類・作用
12	AEA上級認定エステシヤン 演習問題	成績評価②
13	神経系	中枢神経系と末梢神経系
14	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・美容脱毛学概論　・脱毛法の分類と各特徴、美容電気脱毛法　・皮膚組織と毛、皮膚組織の断面図　・毛の構造 ・毛の特色　・毛包の構造　・発毛のしくみと毛周期　・注意すべき皮膚疾患に対する知識と対処法・体質への配慮
15	総合授業	総まとめ ※技術理論と皮膚学、生理学、機器学、栄養学、運動学などの繋がりを確認させる ※口頭試問対策及び理解度の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ AEAテキスト（各項目） シデスコガイドライン			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCOインターナショナル合格基準 (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション、フェイシャルスキンケア、ボディベーシック、ボディテクニカル、サロントリートメント、サロンワーク、エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	味岡 智子			実務経験	○
実務内容	フェイシャル(含骨格矯正)、美容電気脱毛、Wax脱毛（ブラジリアン）ボディ(含リンパセラピー、バリニーズー)、リフレクソロジー(若石)、アロマセラピー等				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	筋系・骨格系	筋肉の種類と特徴/骨の種類と構造/部位ごとの名称と働き
2	CIDESCO 筆記試験対策	・その他生理解剖学補足 ・ホメオスタシスと生命活動含む CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
3		
4		

5	CIDESCO 筆記試験対策	・自然科学 ・最新美容技術 ・ガイドライン（筆記試験内容の補足部分） CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
6		
7		
8	CIDESCO 筆記試験対策	・自然科学 ・最新美容技術 ・ガイドライン（筆記試験内容の補足部分） CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
9		
10		
11	筆記試験	成績評価①
12	CIDESCO 筆記試験対策	・ガイドライン ・CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果フォロー講義 成績評価②
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ AEAテキスト（各項目）			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60％　小テスト・ケースワーク20％　授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ、プロフェイシャルⅡ、サロントリートメント、サロンワーク、エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古田　容子			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務20年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類　・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患 ・アトピー性皮膚炎　・その他の主な皮膚疾患　成績評価①
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	

7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし　・人体の成り立ち
8		
9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） 消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官のの構造と働き）
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法　・化粧品の品質と品質特性　・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定E 演習問題	AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14	筆記試験	模擬試験　成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ AEAテキスト（各項目）			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60％　小テスト・ケースワーク20％　授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ、プロフェイシャルⅡ、サロントリートメント、サロンワーク、エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古田　容子			実務経験	○
実務内容	エステサロン業務20年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期の振り返り
2	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
3		・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
4	認定上級E筆記対策 1年・2年次の不足の補填	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
5		
6		
7		
8		

9	筆記試験	成績評価① AJESTHE上級 模試
10	認定上級E 実技対策	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 成績評価② ケースワーク
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト・問題集 A E Aテキスト①③ ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編			出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験60%（内アロマ検定1級合否含む） 小テスト20% 授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	滝川 満美			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務15年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション Ⅰ年次 総合まとめ	オリエンテーション・検定対策 Chapter1 アロマセラピーの基本・Chapter5アロマセラピーのメカニズム
2	Ⅰ年次 総合まとめ	Chapter2 きちんと知りたい精油のこと
3	Ⅰ年次 総合まとめ	Chapter3 アロマセラピーの安全性 Chapter4 アロマセラピーを実践する
4	Ⅰ年次 総合まとめ	Chapter6 アロマセラピーとビューティー&ヘルスケア
5	Ⅰ年次 総合まとめ	Chapter7 アロマセラピーの歴史をひもとく
6	Ⅰ年次 総合まとめ	Chapter2 きちんと知りたい精油のこと（切っても切れない精油と環境の深い関係）
7	Ⅰ年次 総合まとめ 筆記試験	成績評価① 総合まとめ

8	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト1
9	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト2
10	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト3
11	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト4
12	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト5
13	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト6
14	筆記試験	成績評価② 精油プロフィールまとめ
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト・問題集 A E A テキスト①③ ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編			出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 (H専攻対応) アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験40% 小テスト20% アロマ検定1級合否20% 授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	滝川 満美			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務15年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	アロマ4検定筆記対策	検定練習問題
4	アロマ検定筆記対策	検定練習問題
5	東洋医学	東洋医学とは 陰陽五行説について
6		五臓六腑について・気・血・水／八綱病証・外因・内因

7		ロミロミとは
8	ロミロミ	マッサージの特徴・有益性・効果
9	フラワー・レメディ	フラワーレメディとは
10	筆記試験	成績評価①
11	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダの歴史・考え方・体質判断について・食事・生活・その他 ドーシャバランスについて
12	カラーセラピー	カラーセラピーについて （効果・特徴） オーラソーマについて・カウンセリング
13		色の言語 ・ カウンセリング
14	筆記試験	色の言語 ・ 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。 CIDESCOインターナショナル合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCOインターナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	稲垣 さゆり			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務23年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	トリートメント オリエンテーション	研究レポートについて説明・テーマの決定 レポートの作成方法・期日の説明
2	機器の使用方法 症例紹介	ボディ、フェイシャル機器の使用方法の説明 具体的な症例と組み合わせ方
3	機器の使用方法（ボディ）	症例研究レポートで使用する機器の練習（ボディ）
4	機器の使用方法（フェイシャル）	症例研究レポートで使用する機器の練習（フェイシャル）
5	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果/注意・禁忌事項・応用
6	ボディバック・ラップ	試験内で使用するボディバック・ラップの導入・実践

7	研究研究レポートの為 ケースワーク クライアント	症例研究レポートの導入 実践（クライアント）
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	エステティック科		45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古田 容子 他3名		実務経験		○
実務内容	サロン業務全般 20年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロントリートメント オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価
2	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論/タラソセラピーとは歴史・効果・注意・禁忌事項・応用 タラソパック デモンストレーション・実技演習
3		ソルトピーリング/海泥パック/海藻パックなど
4	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について
5		理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
6	総合まとめ	成績評価① 筆記テスト（タラソセラピー、リンパドレナージュ）

7	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習
8		
9		
10	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
11	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナル・スウェディッシュマッサージ練習
12		
13		
14	実技テスト	成績評価②実技テスト（スウェディッシュマッサージ）
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。 CIDESCOインターナショナル合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	稲垣 さゆり			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務23年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	研究レポートの為に ケースワーク	症例研究レポートの仕上げ
2	ベディキュア	ベディキュア デモンストレーション・練習
3		
4		
5	東洋医学	理論/東洋式と西洋式の違い・東洋式について（経絡・経穴）
6	リフレクソロジー	基本手技/東洋式・西洋式

7	ストーンセラピー	ストーンマッサージ手技・歴史など
8	代替療法	インド伝統医学の考え方と療法（理論）
9	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダマッサージ（実技）
10	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について
11		理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
12	復習	実技試験対策・ 用具類の衛生について
13	マッサージマスク-	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク練習
14	ネイル(ペデュキュア)・メイクアップ	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・ネイル練習
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古田 容子 他3名			実務経験	○
実務内容	エステサロン業務全般 20年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペディキュア	オリエンテーション ペディキュア デモンストレーション・練習
2	ペディキュア	ペディキュア練習
3		
4		
5	東洋医学カッピング リフレクソロジー	理論/東洋医学（西洋医学との違い・経絡・経穴） 基本手技/カッピング
6	ポドロジー	理論/リフレクソロジー・ポドロジー 基本手技/東洋式・西洋式

7	ストーンセラピー	理論/ストーンセラピー 基本手技/ストーンセラピー
8		
9	代替療法 アーユルヴェーダ	インド伝統医学の考え方と療法（理論） アーユルヴェーダマッサージ（実技）
10		
11	AJESTE上級 エステティシャン試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習
12		
13		
14	トリートメント総合	トリートメント総合　成績評価④筆記テスト（リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダ）
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルマニピレーションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルマニピレーションⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEAテキスト10冊 セット クリエヌ化粧品セット・フェイシャル化粧品			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。		
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	春日　純子	実務経験	○
実務内容	エステ機器・化粧品メーカーインストラクター、美容室メイク担当、皮膚科エステティシャン　等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャルマニピレーション オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	フェイシャル用化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の説明 （目的、効果、成分、使用法等）
3	オリジナルマッサージ スウェデッシュマッサージ導入	オリジナルマッサージ デモンストレーション
4	フェイシャルカウンセリング	クライアントに応じコンサルテーションシートを仕上げる
5	AEA上級エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 ・クレンジング～カウンセリング～シート記入～バック選択～マッサージ～仕上げ⇒アフター
6	メイクアップ	実技試験対策・ 用具類の衛生について
7	マッサージ-メイクアップ	マッサージ・メイク練習 成績評価①

8	ネイル	実技試験対策・ 用具類の衛生について
9	マッサージ-マスク-ネイル	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる + マッサージ・ネイル練習
10	デープクレンジング	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる + マッサージ・メイク・ネイル 成績評価②
11	マッサージ-ネイル-メイク	
12	ティンティング・ツイージング	デモンストレーション
13		練習
14	ペディキュア	デモンストレーション 実技試験対策・用具類の衛生について
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルマニピレーションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルマニピレーションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEAテキスト10冊 セット クリエヌ化粧品セット・フェイシャル化粧品			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	春日 純子			実務経験	○
実務内容	エステ機器・化粧品メーカーインストラクター、美容室メイク担当、皮膚科エステティシャン 等				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・実技試験を想定しての流れの説明 クレンジング・カウンセリング（肌分析）・ティンティング・ツイージング ディープクレンジング・電気トリートメント・マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク・アフターカウンセリング ※肌タイプ別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
2	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器	
3	総合実技試験	本番の試験同様の流れで行う 成績評価①
4	アフターカウンセリング	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ツイージング ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
5	フェイシャルテクニック総合	
6	クライアント実習	

7	総合実技試験	本番の試験同様の流れで行う 成績評価②
8	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキストエステティックカウンセリング エステティック電気学、機器学・クリエヌ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。		
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	春日　純子	実務経験	○
実務内容	エステ機器・化粧品メーカーインストラクター、美容室メイク担当、皮膚科エステティシャン　等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャルスキンケア オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1年の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォレーゼ・デイスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→電気学 ボディ→ガルバニック
3		
4	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→電気学 ボディ→低周波
5		
6	フェイシャル電気機器まとめ 直流・交流電流	成績評価①

7	フェイシャル電気機器 バター	バター ディープ機器選択 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→解剖生理学 ポディ→サクション)
8		
9	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
10		
11		
12	フェイシャル電気機器まとめ バター・高周波	成績評価②
13	電気トリートメント選択方法 復習	クライアントに応じた機器の選択（カウンセリング含む） 禁忌事項・操作方法の確認
14		
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキストエステティックカウンセリング エステティック電気学、機器学・クリエヌ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。		
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	春日　純子	実務経験	○
実務内容	エステ機器・化粧品メーカーインストラクター、美容室メイク担当、皮膚科エステティシャン　等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	口答質問対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	フェイシャルテクニック総合	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント
6	クライアント実習	マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク アフターカウンセリング

7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価③
8	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディベーシックⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディベーシックⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO国際ナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	服部 詠子			実務経験	○
実務内容	エステティック講師、セラピスト/タイ古式マッサージ、リフレクソロジー、オイルマッサージなど エステティック/ブライダルエステ、ブラジリアンワックス、フェイシャルケアなど、ヨガインストラクター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディベーシック オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング
3	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
4	ボディ分析 スウェディッシュマッサージ練習	マッサージ練習
5		
6		成績評価① スウェディッシュマッサージ

7	脱毛 Wax (Warm)	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果
8		脱毛理論/成分/注意事項・禁忌事項 ワックス実技 (腕・足) (デモンストレーション・実技)
9	AEA上級 エステティシャン	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
10	試験対策	
11	コンサルテーションシート記入 (冷え、貧血、低血圧)	ボディトラブルの理論的解説 (原因・症状・改善策など)
12	コンサルテーションシート記入 (むくみ、低体温)	＋スウェディッシュマッサージ練習 運動生理について理論的解説 コンサルシートを仕上げる
13	コンサルテーションシート記入 (セルライト、脂肪)	成績評価②
14	脱毛 Wax (Hot)	ワックス実技 (脇・Vライン) (デモンストレーション・実技)
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディベーシックⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディベーシックⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。		
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	CIDESCO国際ナショナルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	服部　詠子	実務経験	○
実務内容	エステティック講師、セラピスト/タイ古式マッサージ、リフレクソロジー、オイルマッサージなど　エステティック/ブライダルエステ、ブラジリアンワックス、フェイシャルケアなど、ヨガインストラクター		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・脱毛復習	オリエンテーション・Wax (Warm/Hot)
2	通し練習	スウェディッシュマッサージ復習～脱毛まで・脱毛項目成績評価③
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	ボディテクニック総合	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択
6	クライアント実習	ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。

7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価④
8	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディテクニカルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカルⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 エステティック機器の技術、知識を深める。		
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	味岡　智子	実務経験	○
実務内容	フェイシャル(含骨格矯正)、美容電気脱毛、Wax脱毛（ブラジリアン）ボディ(含リンパセラピー、バリニーズ)、リフレクソロジー(若石)、アロマセラピー等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディテクニカル オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り ボディ用化粧品ガイダンス・2年生より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等）
2	プレトリートメント導入	化粧品、赤外線、ヒートマットなどを用いて行うプレトリートメント(理論、実技)
3		
4	ボディ電気機器	ガルバニック 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
5	直流電流	フェイシャルスキンケア⇒イオン・デイスインクラレーション

6	ボディ電気機器	低周波 □ 答試問対策・解説
7	交流電流	禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒低周波
8	ボディ電気機器 実技テスト①	成績評価①
9	ボディ電気機器	サクション □ 答試問対策・解説
10	サクション	禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒バター
11	ボディ電気機器	G5 □ 答試問対策・解説
12	G5	禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
13	ボディ電気機器 実技テスト②	成績評価②
14	ブレットリートメント・電気トリートメント選 択方法復習（カウンセリング含クライアント 実習）	クライアントに応じた機器の選択 禁忌事項・操作方法の確認
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディテクニカルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 エステティック機器の技術、知識を深める。		
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	味岡　智子	実務経験	○
実務内容	フェイシャル(含骨格矯正)、美容電気脱毛、Wax脱毛（ブラジリアン）ボディ(含リンパセラピー、バリニーズ)、リフレクソロジー(若石)、アロマセラピー等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体質・トラブル別の選択 生理学・香粧品学・機器	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2		口答質問対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価③
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択
6		ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。

7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価④
8	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピー総論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピー総論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1級 A E A テキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト			出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（H専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマテラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験60％ 小テスト20％ 授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古田 容子			実務経験	○
実務内容	エステサロン業務20年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年生の振り返り	前期の振り返り
2	1. スキントッチと効果 ※カウンセリングと連携	感覚器としての皮膚・スキントッチの重要性 エステティックマッサージとその心理的效果
3	精油紹介① (ホメオスタシス)	トリートメント用 ブレンドオイル作り
4	2. 脳の誕生と進化・機能 (ホメオスタシス)	ヒトの脳・脳と心
5	精油紹介② (ホメオスタシス)	シアバタークリーム作り
6	3. 脳神経の構造と働き ※カウンセリングと連携	脳の基本構造 各部の役割（大脳皮質・間脳脳幹・小脳）
7		脊髄の構造と働き 末梢神経の種類・神経の伝達経路

8	4. ホメオスタシス ※カウンセリングと連携	外部環境への適応 ホメオスタシスの三角形の各メカニズム
9	精油紹介③ (ホメオスタシス)	ハンガリアンウォーター・化粧水作り
10	5. ストレス ※カウンセリングと連携	ストレスとその正体・ストレスとホメオスタシス・病気 ストレスと上手に付き合う方法・職場とストレス 成績評価①
11	精油紹介④ (ホメオスタシス)	手作りせっけん・石けん素地
12	6. 心と肥満のかかわり ※カウンセリングと連携	肥満の要因・思春期の肥満・女性の肥満
13	アロマ1級範囲 復習 ①	アロマセラピーと環境・植物が育んだ生命・身のまわりにある植物と香り アロマセラピーの源流・精油が心身に作用する経路
14	アロマ1級範囲 復習 ②	植物と共に生きてきた私たちの歴史/いま地球が抱えるさまざまな難問1人ひとりができることから～未来の子どもたち のため 成績評価② 模擬試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピー総論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピー総論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1級 A E A テキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト			出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（H専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマテラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験60% 小テスト10% 授業態度・提出物など10% アロマ検定1級合否20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	古田 容子			実務経験	○
実務内容	エステサロン勤務20年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価③
4	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	ウスベニアオイ
5		エキナセア
6		エルダーフラワー

7	ハーブのプロフィール	セントジョワンズワート
8	メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	ハーブ以外の材料 ネットル・安全に使用するために　メディカルハーブの効果と仕組み筆記試験 成績評価④
9	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	・ダンディライオン・ラズベリールーフ・ジャーマンカモミール／パッションフラワー アトピー性皮膚炎・湿疹・不安・緊張
10		・リンデン　・ハーブを利用するための様々な方法(湿布) ・花粉症・肩こり・腰痛(温湿布)
11		・ジャーマンカモミール(復習)・ハーブを利用するための様々な方法(チンキ)/しみ・色素沈着の予防 ・ハイビスカス／マテ　・スポーツ前の集中力と持続力のアップ
12		マルベリー／ローズヒップ ダイエット・肌荒れ・外傷
13		・不眠・抑うつ(リンデン)・胃の不調・ペットのケア(ペパーミント) ・二日酔い(ペパーミント・ダンディライオン・ローズヒップ)
14		風邪・インフルエンザ(エキナセア・エルダーフラワー) 目の疲れ(ウスベニアオイ・ジャーマンカモミール)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー		
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。		
評価基準	実技試験60％　小テスト20％　授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディⅡ、エステティックカウンセリングⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	伊藤　由貴子　他1名	実務経験	○
実務内容	サロン業務・エリア管理15年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペディキュア	2コマ：オリエンテーション 2コマ：ペディキュア デモンストレーション
2	ペディキュア リフレクソロジー	ペディキュア デモンストレーション・練習
3		リフレクソロジー反射区《理論》 手技（親指の使い方）反射位置・効果・注意点 ペディキュア 練習
4		台湾式フットマッサージ《理論》・フットケアについて 疾病・道具・フットバス・足の観察 相モデルで練習 ・ ペディキュア 練習
5		リフレクソロジー・ペディキュア 成績評価①
6	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入

7	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション
8		オリジナルマッサージ 練習
9	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ 練習
10		オリジナルマッサージ 練習
11	ロミロミ アロマテラピー	ブレ・前操作・ブレンディング 背部
12		下肢背面・下肢全面・ブレンディング
13		腹部・デコルテ・頭部・ブレンディング
14		ブレンディング コンサルテーション・的確な部位のマッサージ〜クロージング 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー		
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。		
評価基準	実技試験60％ 授業態度・提出物など20％ エステ研修試験結果20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディⅡ、エステティックカウンセリングⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	伊藤 由貴子 他1名	実務経験	○
実務内容	サロン業務・エリア管理15年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用
4		タラソパック デモタラソの活用実技 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パック

5	ストーンセラピー (マッサージ手技はスウェディッシュ)	ホット・コールドホットストーンの歴史 チャクラとは？チャクラの位置
6		前操作～腰背部～下肢後面 のデモンストレーション・練習
7		仰向けへのセット～下肢前面・腕・デコルテのデモンストレーション・練習
8		成績評価①
9	脱毛(実技理論含む)	脱毛理論(全体で6時間) 禁忌・注意事項など
10		脱毛理論・実技・最新脱毛機器について
11	アーユルヴェーダ	背中～腕のデモンストレーションと練習 背中～腕の練習
12		脚後面のデモンストレーションと練習 脚後面の練習
13		上半身前面のデモンストレーションと練習 上半身前面の練習
14		カウンセリング～マッサージ (体質判定・オイル選び・部位選択) 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書			出版社	株式会社ADE CREATES

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。 また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材になる。		
到達目標	希望の就職先に内定する。		
評価基準	テスト10％ 提出物・課題50％ 授業態度40％		
認定条件	・出席が総時間数3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	平賀純	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ

8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書			出版社	株式会社ADE CREATES

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。 また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材になる。		
到達目標	希望の就職先に内定する。		
評価基準	テスト10％ 提出物・課題50％ 授業態度40％		
認定条件	・ 出席が総時間数3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	平賀純	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクリエーション
2	人間力	担任の想い
3	夢	一般常識
4	夢	社会人として求められているもの
5	人間力	愛される人材とは
6	人間力	メンタルトレーニング①
7	人間力	メンタルトレーニング②

8	夢	企業研究
9	人間力	感謝の気持ち
10	夢	企業研究
11	夢	CASEスタディ①
12	夢	CASEスタディ②
13	人間力	卒業してからの自分を想像する
14	夢	企業研究の総まとめ
15	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	2	80
使用教材	－			出版社	－

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40%(ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)				
認定条件	・出席が総時間数の50時間以上の者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	平賀純 他1名			実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	－	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。		
到達目標	・ 社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・ 相手の立場に立った物事の考え方ができる ・ 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・ 実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	－	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。		
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	－	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。		
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳			出版社	－

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	－	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。		
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	－	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。		
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳			出版社	－

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳			出版社	－

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					